

デジタルトランスフォーメーションを推進するための人材とは？
～ 必要人材育成のポイントを解説～

Workstyle Innovation Consortium ビジネス変革応援隊 Vol.2

Workstyle Innovation Consortium 主催イベント オンライン開催

2023年10月12日(木) 11:00-12:00



本日の内容



デジタルトランスフォーメーションを推進するための人材とは？
～ 必要人材育成のポイントを解説 ～

ビジネス変革応援隊 Vol.2

No.	時間	内容 / 講演企業	概要
1	11:00-11:10	オープニング & Workstyle Innovation Consortium の紹介	本日のウェビナー開催趣旨とWorkstyle Innovation Consortium の紹介
2	11:10-11:50	DXを推進するための人材とは？どのように企業の中で育成していくか 株式会社アイ・ラーニング	デジタルトランスフォーメーションへの最大の阻害要因は企業文化とそれを推進する人材の不足にあります。このような中、どのように必要人材を育成するか、また外部の協力関係について、実例をもとに解説します
3	11:50-12:00	質疑応答 & クロージング	

会議ツールの基本操作



The screenshot shows a BigBlueButton webinar interface. On the left is a chat window, and on the right is a presentation slide. Callouts point to specific controls: 'グループチャット ON/OFF' (Group Chat ON/OFF) points to the chat window; '資料の最大化' (Maximize Document) points to the maximize button in the top right of the slide; 'チャットメッセージ' (Chat Message) points to the chat input field; 'ミュート ON/OFF' (Mute ON/OFF) points to the mute button in the bottom toolbar; and 'カメラ ON/OFF' (Camera ON/OFF) points to the camera button in the bottom toolbar.

BigBlueButton
t/join?sessionToken=sfhoff5zkbv9p60r

DEMO

メッセージ

グループチャット

メモ

共有ノート

ユーザー管理

承認待ちのユーザー

ユーザー (1)

Noriyuki Sasaki (自分)

グループチャット

Welcome to ClassCat Webinar!

For help on using BigBlueButton see these (short) [tutorial videos](#).

To join the audio bridge click the speaker button. Use a headset to avoid causing background noise for others.

This server is running BigBlueButton.

誰かを会議に招待するには、このリンクを送信します：
<https://webinar252.classcat.com/b/noriyuki-ee7-osb>

No Noriyuki Sasaki 10:01
本日はウェビナーに参加いただきありがとうございます。
講演資料と音楽が聞こえていれば基本的にOKです。
視聴環境といたしましては、Chrome または Firefox の最新版が動作可能な PC やスマートデバイスから接続してください。

メッセージグループチャット

ClassCat Webinar | 録画開始

資料の最大化

働き方改革推進コンソーシアム
Workstyle Innovation Consortium

働き方改革推進コンソーシアムの紹介
WIC : Workstyle Innovation Consortium

TELEWORK

スライド 4

100%

+

ミュート ON/OFF

カメラ ON/OFF

Workstyle Innovation Consortium

Think Business Model

Workstyle Innovation Consortium 紹介

(旧：働き方改革推進コンソーシアム)




本団体の活動履歴

2016年3月：テレワークICT協議会設立

- 
- テレワークを民間から普及させる非営利団体として設立
 - 本団体は現在も活動しております (<http://www.telework-ict.info/>)

2018年1月：働き方改革推進コンソーシアム を姉妹団体として設立

- 
- テレワークから派生し、更に事業モデルなど“昭和モデルからの脱却”を考える場として、協議会の姉妹団体として設立
 - 昭和モデルとは真逆の、労働力人口の減少、労働生産性、経済活動の成熟化に対して、様々な議論や活動を実施
 - コンソーシアムには125社（158名）にご加入頂いております
 - 7つの分科会、約40回のイベントを開催いたしました

2023年4月：WORKSTYLE INNOVATION CONSORTIUM (WIC) へ

WORKSTYLE INNOVATION CONSORTIUM

2018年1月に働き方改革推進コンソーシアムを設立した際には、高度成長時代の昭和から平成に引き継がれた企業形態への問題提起を行い、少子高齢化社会を見据えた新しい働き方やそれを支援するための技術や仕組みづくりをご支援させていただきました。

COVID19の影響もあり、企業内においてもテレワークの本格的な普及や、働き方に関わる制度や考え方も大きく変わり始めたと考えております。

2023年4月からは“**WORKSTYLE INNOVATION CONSORTIUM**”として改名しました。

みなさまのお力添えもいただきながら、次世代の仕組みづくりをサポートするための活動を行っていきます。

引き続き本団体をよろしくお願い申し上げます。

WORKSTYLE INNOVATION CONSORTIUM
会長 西田 泰彦

WORKSTYLE INNOVATION CONSORTIUMの活動目的

課題先進国日本【日本が抱える課題】

経済活動の成熟化



低成長時代、ビジネススパンの短寿命化

労働力人口の減少



地方都市分の人口が年間減

労働生産性



OECD加盟諸国
下位グループ

新しい価値観



サステナビリティや世代間の価値基準の変化

次の時代に向いて、これからどうするか

- ・ 次の時代を見据えた際に、どのような仕組みや方法論があるのか
- ・ 他ではどのように行っているのか、どのような苦勞があるのか



WORKSTYLE INNOVATION CONSORTIUM

WICの活動について



WIC定例会 (3回/年)

会員

非会員

基調講演や本団体の活動報告、名刺交換会を3回/年行います。開催日により会場、オンラインのハイブリッド開催も実施いたします。

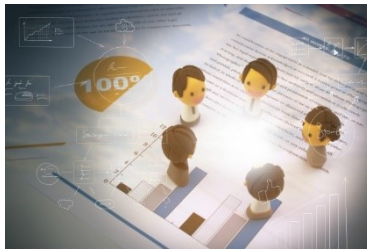


WIC主催ウェビナー

会員

非会員 (聴講のみ)

WIC主催によるウェビナーを行います。主には海外も含めたトレンドに関わるテーマ、会員による製品やサービスなどの紹介を実施いたします。



分科会活動

会員

特定テーマにおける分科会や、アライアンスを前提とした啓蒙を行うセールスアライアンスの2種があります。こちらは会員限定の活動になります。



座談会

会員

非会員 (招待のみ)

同業種、職種階層などで情報交換を行う場所も提供いたします。自社で困っている点やトレンドなど、特定の方々との情報交換の場としてご活用ください。

主催ウェビナーについて

働き方応援隊ウェビナー



会員のソリューションをWIC主催ウェビナーで紹介いたします。また機能だけではなく、関わるトレンドなどもご紹介いたします

講演者： 会員
聴講者： 非会員の方も参加できます
参加費： 無償

ビジネス変革応援隊ウェビナー



社会事象やトレンドなどをご紹介いたします。新しいテクノロジーやフレームワーク、また海外テック企業などの動向をご紹介いたします

講演者： 会員・非会員
聴講者： 非会員の方も参加できます
参加費： 無償

ウェビナー一例について（働き方改革応援隊ウェビナー）

【2023年09月14日：ウェビナー】

中小・零細企業でも利用できるBCP通知サービスの紹介



セキュリティと生産性向上を目指すXEENUTS社のEXGATE製品の新しいオプションとして、BCP通知サービスをリリースいたしました。

- ・ 中小・零細企業
- ・ 契約社員やアルバイトを採用されている企業
- ・ 複数社が参加するプロジェクトを実施している企業
- ・ 災害情報とシステムを連携したBCP初期手順の自動化を行いたい企業

会社設定通知の他、利用者個人の通知設定もご利用いただけます。

API連携オプションにより災害時に人手を介さないシステムチェックから結果のPUSH通知～システムへのリモートアクセスなど運用も実現できます。

- 主催 : Workstyle Innovation Consortium
後援 : 株式会社XEENUTS
参加費 : 無料(事前登録制)
定員 : 20名(申込順で受付：定員になり次第受付終了)
対象 : 中小零細企業、契約社員を採用されている企業、BCP初期手順を自動化されたい企業など

詳細・申込 : <http://workstyleinnovation.org/2023/08/14/wic0914/>

ウェビナー一例について（ビジネス変革応援隊ウェビナー）

【2023年08月29日：ウェビナー】

ドルベースで思考出来る人材を増やそう、円安基調の中でも勝てる事業体へ！

～ 海外売上を伸ばすために、会社の基盤となる「人」=タレントを強化する準備はできていますか？ ～



Webrain Thinktank は、日本のトップ企業を中心に、そこで働く人たちのインテリジェンスとグローバルで戦う力を高めることをミッションに活動を始め、3,500人を超える卒業生を輩出してきました。同社のトレーニングに参加された人々は、部長や本部長、海外支店のGM、そして経営幹部として活躍されています。

特に米国でのビジネスを加速するためのポイントを解説いたします。

- 自分たち（日本）・相手（米国）を知ることの重要性
- 成功している企業の特徴
- 米国進出するためのポイント
- Webrainが提供しているサービス

主催 : Workstyle Innovation Consortium
後援 : Webrain Think Tank LLC
参加費 : 無料(事前登録制)
定員 : 20名(申込順で受付：定員になり次第受付終了)
対象 : 経営者層、新規事業やビジネス変革担当者など

詳細・申込 : <http://workstyleinnovation.org/2023/08/09/wic0829/>

分科会活動の種別

特定テーマにおける研究



これから本格的に到来する少子高齢化社会や社会事象、また新しいテクノロジーも含めた業種別/業務別の**特定のテーマにおける情報交換やモデルの検討**を行います。

ホワイトペーパーなどのドキュメント

セールスアライアンス



社会事象やトレンドに基づいた新しいテクノロジーやソリューションなどを**アライアンスに基づいた啓もう活動や情報交換**などを行います。

ソリューションマップによるアライアンス、セミナーなど

分科会は幹事会社が運営を行い、会の性格により公募、クローズドにて活動を行っています

座談会について



- 自社で苦勞している点に対しての他社での試み
- 現場ではどのように考えているのか？
- 最近のビジネスのトレンドはどうか？
- このような商材があるが、どこに売れるだろうか？

社長同士、総務部門担当者など同じ職種の方々、また特定のテーマで気軽に情報交換を行える座談会を行います。

会員の方々が抱えているお悩みや実務への参考にしていただければと思います。

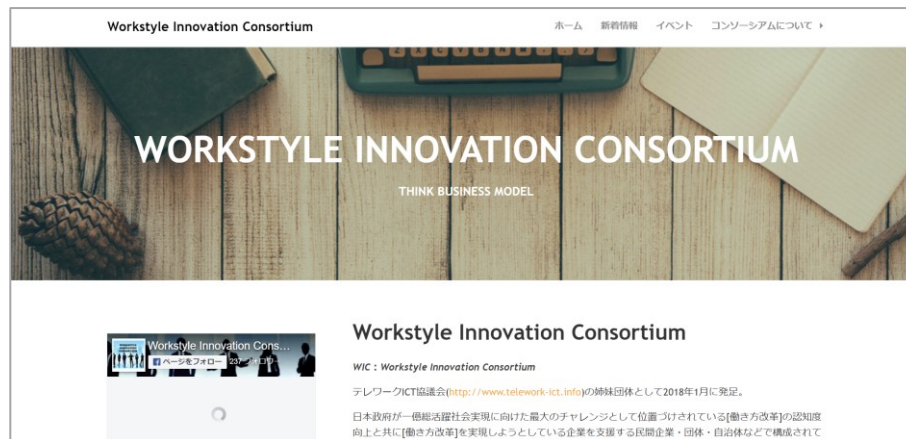
こちらの実施方法については、改めて事務局よりご案内させていただきます。

本団体について

会員登録申請：<https://workstyleinnovation.org/about/memberreg2/>

会員参加希望の方につきましては参加申し込みをいただいてから、1週間内に参加可否の連絡を事務局から返答させていただきます。

Homepage



<https://workstyleinnovation.org/>

Facebook



<https://www.facebook.com/workstyleinnovation/>

お問い合わせ：office@workstyleinnovation.org

今後のイベント



<定例会：ハイブリッド>

【12月08日(金)15:00-17:30】(懇親会：18:00-20:00) Vol.3

<働き方改革応援隊：ウェビナー 11:00-12:00>

- 11月16日(木)

- 12月14日(木)

<ビジネス変革応援隊：会場開催>

【10月27日(金) 16:00-17:30：会場開催】海外ビジネスってどんなもの？

～ なぜクライアントはアメリカでビジネスをしようと思ったのか？

その背景や失敗事例もお話しします ～

座談会 Vol.2 [詳細]

Workstyle Innovation Consortium

Think Business Model

Workstyle Innovation Consortium

(旧：働き方改革推進コンソーシアム)



ありがとうございました

